



な ら 7 月



HP : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nara> ナラッキー

チームワーク

副校長 えいの 宮野 雅樹

夏が来たと思うほど暑かった 5 月に比べ、6 月は梅雨入り前後で涼しい日が続き、逆に寒いと感じる日もありました。気温の乱高下は体調不良を招きやすいので、気を付けたいですね。このあと 7 月は気温も湿度も上がり、夏本番を迎えることと思います。

さて、サッカーワールドカップ-予選リーグにおける日本の活躍が目覚ましく、本戦出場が決まりました。この号を読まれるころは、決勝トーナメント第 1 戦の結果も出ているでしょうか。日本の世界ランキングは 18 位で、数年前、10 年以上前からすると強く、技術や戦略面での成長が感じられます。予選リーグでランキング 8 位のオランダと対戦して引き分けたわけですから、戦い方次第ではランキングに関係なく勝つことが期待できます。

試合を見ていて、日本チームは相手に得点を決められたあと、円陣を組んで声を掛け合う様子が目に留まりました。最近では、他の国やチームでも実践しているところもあるようですが、失点したからこそ、もう一度声を掛け合って皆で士気を高める。チームワークの良さを感じさせられます。マイナスなことは、引きずっても仕方ないので、すぐに切り替えて次に挑む姿勢には学ぶところがあります。他の強豪国で個人の技術レベルが高い国でも、連携がうまくいかないチームは試合に苦戦していることが分かります。

話は変わりますが、本校で今年度取り組んでいる「チーム担任制」について紹介します。これまでも、専科の授業の他、学年内で各担任が教科を分担して行う、「教科分担制」に取り組んできました。それはこれからも継続して取り組んでいきます。さらに、昨年度第 2 学年で実施していた「副担任制」を今年度は第 6 学年で設定しています。教務主任であり、チームマネージャーでもある湯田教諭が、第 6 学年の各クラスの副担任として務め、授業以外の場面でも学級に入ります。このように複数の教員で学年の全てのクラスを見ていく取組は、横浜市の施策として注目されているものでもあります。本校は、市の実践推進校として指定を受けており、奈良小ならではの取組方法の実践に期待されています。担任以外の教員が授業を行うことは、教員にとっては児童理解を深めることや、教材研究の効果的、効率的な実施に繋がります。一方子どもたちにとっては、日常的に関わる大人が増え、相談する相手が複数存在することが、安心に繋がることを想定しています。先日の土曜参観において、担任以外の教員が授業をする場面を見ていただけた学年もあったかと思います。

教員一人で学級をみるのではなく、学年やその他級外の教員を含め、学校全体で子どもたちを指導していく、チーム担任制。言葉どおりまさにチームワークが不可欠な取組です。